



平成 28 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社マーケットエンタープライズ
代表者名 代表取締役社長 小林 泰士
(コード：3135、東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 今村 健一
(TEL. 03-5159-4060)

平成 28 年 6 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 8 月 7 日の平成 27 年 6 月期決算発表時に開示した平成 28 年 6 月期（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の通期業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期業績予想数値の修正（平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,250	320	321	200	39.46
今回修正予想 (B)	4,940	151	150	80	15.78
増減額 (B - A)	△310	△169	△171	△120	—
増減率 (%)	△5.9	△52.8	△53.3	△60.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 6 月期)	3,988	237	227	136	30.68 (注)

(注) 当社は、平成 28 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っており、平成 27 年 6 月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております

2. 修正の理由

(1) 売上高・仕入高・売上総利益

第 3 四半期累計期間（平成 27 年 7 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）において、売上高、仕入高、売上総利益については、当初予想どおりの推移となりましたが、第 4 四半期においては、下記「(2) 営業利益・経常利益」欄に記載のとおり、将来的な収益獲得に向けた基盤拡充、内部体制整備のために人的リソースを配分するため、買取済み商品の商品化、メンテナンス、EC サイトへの出品等に一時的な遅延が生じ、結果として、販売量が一時的に減少する見込みであります。そのため、売上高は前回公表値を下回る見込みとなりました。

(2) 営業利益・経常利益・当期純利益

今後更なる拡大が見込まれるリユース市場、EC市場に対応すべく、将来的な収益を極大化するため、その基盤拡充に向けた積極的な先行投資を行いました。具体的には、新サービスの開発や内部管理体制の拡充に向けた人材の採用、商品取扱量の増大や生産性の向上に向けた既存拠点の施設増強等を推進いたしました。

第4四半期におきましても、4月に仙台リユースセンター（商品の買取、保管、ECサイトへの出品、受注管理を行うフルフィルメントセンター）の新規開設を行い、6月には徳島コンタクトセンター（電話やインターネットにて買取依頼商品の事前査定を行う専門部署）の新規開設を控え、当初想定に比し、各拠点開設を前倒して実施しております。加えて、今後見込まれている大手企業各社とのアライアンス展開に備え、積極的な人員採用と設備投資を加速しております。

当該内容に起因し、特に第4四半期においては、特に人件費、地代家賃、設備投資費用が当初想定を上回り、売上高販管費率が当初想定と比較し、3ポイント上昇することが見込まれていることから、営業利益、経常利益、当期純利益について、前回公表値を下回る見込みとなりました。

(注記事項)

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上